

研究機関名：東北大学

受付番号：	2012-1-138
研究課題名	腎臓病発症時の血中エリスロポイエチン濃度が腎予後におよぼす影響の検討
研究期間	西暦 2012 年 8 月 (倫理委員会承認後) ~ 2015 年 7 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (カルテ)
上記材料の採取期間	西暦 2000 年 1 月 ~ 2012 年 6 月
意義、目的	多くの腎臓病は間質線維化を伴って進行するため、間質線維化のマーカーは、適切な病状把握に必要と考えられている。ここで、エリスロポイエチンは腎間質の線維芽細胞より分泌されるため、間質線維化の程度を反映する可能性がある。本研究では、既知の腎障害のマーカーや全身状態のマーカーと血中エリスロポイエチン濃度の相関関係を明らかにすることで、エリスロポイエチンの血中濃度が、腎臓病の進展マーカー、治療マーカーとして用いられる可能性について検討することを目的としている。本研究により、間質線維化の病状把握に役立つ非侵襲的マーカー開発につながることを期待される。
方法	○ 対象者 当院腎高血圧内分泌科にて、2000年1月から2012年6月に腎生検を行った患者 ○ 情報収集・解析 対象患者のカルテ情報に基づき傷病名と血中、尿中腎障害および全身状態のマーカーと血中エリスロポイエチン濃度に関する情報を収集、相関関係を検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学メディカルメガバンク機構 准教授 阿部倫明 電話 022-717-7163 FAX 022-717-7168